



福岡

■ワイド

マンション建設をやめて温泉スタンドを開設した進藤芳伸さん(59) 福岡市西区徳永のマンション建設予定地で、入居者専用の井戸を掘ったところ、飲用に適した温泉が湧き出したので、急ぎよ計画を変更して、7月に温泉水の販売所をオープンしました。

地下約70メートルから水温16度の温泉が湧き出て

「温泉水」



人・話題

います。県の分析では、成分のうちマグネシウムとカルシウムのバランスに優れ、口当たりのよい水です。愛飲家も増えてきました。

「彩都の水」と名付けて5リットル100円、12リットル200円で販売。スタンドの営業は午前6時〜午後10時。進藤さん0962(8007)0333。

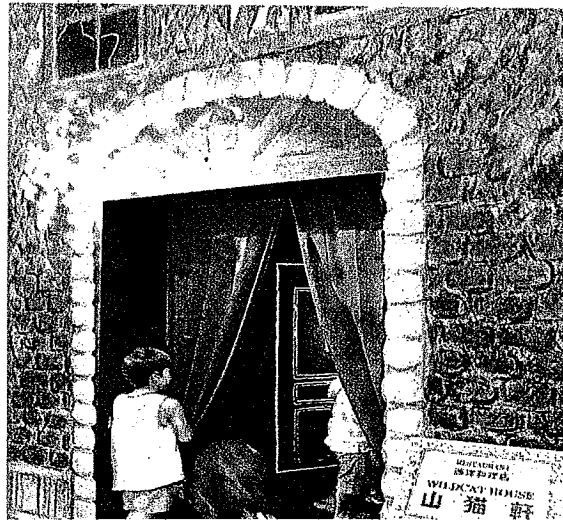
おはなしめしあがれ
絵本ミュージアムより

「鹿の黄色い横つ腹なんぞに、三発お見舞いしたら、ずいぶん痛快だろうねえ。くるくる回ってそれからどたと倒れるんだらうねえ」。

鉄砲を担いだ猟師の人の物騒な会話から始まる宮沢賢治の童話「注文の多い料理店」(1924年)。山奥をさまよいおなががすいた2人は「山猫軒」という不思議なレストランに迷い込む。料理を頼もうとするが、逆に店側から奇妙な注文を次々と突きつけられ…。

「注文の多い料理店」(宮沢賢治)

食堂のテーブルに座ればあらゆる料理が注文できる人間。そしてその楽しみのために食材として食卓に供される動物たち



命への感謝と

ち。この童話では、命を命へ「いただきます」と狩る者と狩られる者の関係が逆転していくスリルとユーモアが絶妙なスパイスになっている。童話の序文で幼い読者に賢治は語る。「このち

「絵本ミュージアム」の会場で再現された「山猫軒」では映像と音を駆使したドキドキする仕掛けがいっぱい。来場者は食べられる恐怖を味わうことで、あらゆる食材の

成都市の小学生チームが来県

日中「野球外交」熱く

試合や合同練習「また来たい」笑顔

中国四川省成都市の少年野球チームの小学生たちが福岡を訪れ、各地の野球少年と交流している。5日には福岡市西区の能古島を訪問。島内の中学生チーム「能古島アパッチ」と汗を流した。日中両政府の対話に進展がみられない中、子どもたちの「草の根外交」は一歩先を進んでいる。

「ヨロシク、オネガイ」「二ーハオ!」
5日午後、能古島のグ



△の

課題の守備力

自由ヶ

全国高校野球 第95回全国高校野球選手権大会で、大会5日目 監督が打撃の12日に延岡学園(宮崎) た。野田泰